



ご出産・育児の悩み相談室

赤ちゃんの眼の発達と見え方

赤ちゃんの眼にこの世界がどのようにうつっているのか、
皆さまも考えたことがあるのではないのでしょうか。
今回は赤ちゃんの眼の発達と見え方についてお伝えします。

眼の発達

眼の機能は生まれた時点では完成しておらず、眼を使うことによって、1歳6カ月をピークに3歳ごろまで、特に著しく発達します。そして、その後も緩やかに発達し続けます。

視力

生まれたばかりの赤ちゃんの眼は、視力にすると0.02程度。その後視力は急速に発達し、5～6カ月で0.2、1歳で0.2～0.3、2歳で0.5、3歳で0.7～1.0程度になります。

色や質感

生まれたばかりの赤ちゃんの眼にうつるのは白と黒を中心とした世界です。そして2カ月ごろには赤と緑、4カ月ごろには青色と黄色を認識できるようになります。また、ギザギザ、トゲトゲ、しましま、ぐるぐるといった特徴的なものを好みます。

立体感

立体感を把握するのに必要な脳の発達や眼からの情報処理は、4～6カ月で急速に発達し、7カ月ごろから分かるようになります。積み木遊びなど、手と眼を使い、立体感覚の獲得を促す遊びをするのもよいでしょう。

出産・育児のお悩み、助産師にご相談ください

【そごう横浜店 プレマステーションのご案内】

〈開設時間〉午前11時～午後5時

※クラブ・オン/ミレニウム エントリー ベビー&キッズ会員の方は事前ご予約も承ります。

(ご予約承り時間:午前11時～午後4時)

〈ご予約・お問い合わせ〉8階=プレマステーション/電話 045(465)5666<直通>